

畑ってすごい！ ～枝豆の収穫を通して～

目 標

- ・枝豆の収穫を通して収穫の喜びを味わうとともに、専門家の作物を育てる工夫や努力を知る。
- ・一粒の種から多くの収穫ができることの不思議さを実感する。

育てたい力

- 収穫を体験することによって、諸感覚を通して作物の成長に気付いたり、専門家の方々へのインタビューを通じて仕事の苦労や収穫の喜びを実感的に理解したりする力を育てる。
- 教材園の枝豆と農家の畑の枝豆の比較を通して、土などの条件による成長の違いに気付く力を育てる。

主な学習活動（生活科：5 時間）

枝豆のタネの
観察
(4 月)

・枝豆の種の観察をし、気付いたことや種からどのくらいの枝豆の粒が収穫できるかを予想した。子どもは、「こんな堅そうな種から本当に枝豆ができるのか。」といった疑問をもった。

教材園の枝豆
の観察
(6～7 月)

・4 年生が植えた枝豆の様子を観察し、成長の様子を観察するとともに、水やり、追肥などの世話の仕方を聞き、体験した。

さとらんどで
の枝豆の収穫
体験(9 月)

・さとらんどで、枝豆の収穫の仕方を聞き、収穫に取り組んだ。枝豆の生育状況を聞くことで、枝豆を取る時に丁寧に取らなければならないことなどに気付いた。また、農場の人から話を聞くことによって、作物を育てる苦労などに気付いた。

収穫体験を絵
日記にしよう
(9 月)

・今までの学習を振り返り、気付いたことを絵日記にまとめた。



取組を終えて

子どもの声（感想）

子どもからは、「枝付きの枝豆を初めて見たよ。」「大きい畑にいっぱい枝豆がなっていました。嬉しかったです。」「枝から豆を外すのが楽しかったよ。とても楽しい農業体験になったよ。」などの感想が寄せられた。

取組の成果

子どもにとって農場での収穫は、初めての体験であり、新鮮な驚きとわくわくすることが多かった。枝豆の実のなり方をよく見たり、枝豆の収穫の仕方を真剣に聞いたり、一生懸命取り組むことで、収穫の喜びや自然の不思議さを感じることができた。また、教材園と農場の畑の枝豆を比較することにより、生育の違いや農家の人々の作物を育てる工夫や努力を感じたことも大きな成果であった。2 年生では、実際に植えから収穫などの活動に取り組むため、この学習での体験が生きると考える。

体験先、関係機関

サッポロさとらんど（札幌市）